

第 1 1 章 環境（薬事・環境衛生関係施設・水道・その他）

1 環境衛生関係

営業者の自主活動及び衛生水準の向上を図るため、衛生講習の開催、立入検査の実施等、環境衛生関係施設の衛生確保に努めた。

2 水道関係

管内の水道普及率は95.4%と、県下の95.0%と同等であり、全国の98.2%（令和3年度）より低い状況である。管内の水道施設は、上水道が9施設、簡易水道が2施設、専用水道が9施設となっており、各施設における管理状況、水道水質基準に基づく水質検査の実施状況等を把握するなど適正な維持管理について監視指導を行った。

3 薬事関係

安全な医薬品の供給、毒物劇物による事故、危害防止のため、医薬品、毒物劇物販売業者に対し、医薬品等の適正な取扱い及び保管貯蔵等について監視指導に努めた。

4 献血関係

市町の協力のもとに、地域住民及び各事業所等に対し、献血思想の普及に努めるとともに、400ml献血及び成分献血を中心とする献血啓発活動を積極的に推進した。